

すぎのこ

154

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2019 4/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 映山研修センター：〒350-1315 埼玉県狭山市北入曽695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706
 滝恋研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝恋村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面・3面 巡回公演だより／園からの声／新作「はだかの王様」／制作だより／卒園を祝う親と子の観劇会
 4面 日本芸術文化振興会助成事業／活動記録 ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: support@suginoko.org

子どもたちの未来と演育

理事長 大場 隆志



平成二十九年に学習指導要領の改正が行われ、移行期間を経て、今後実施されていく学習のポイントは、「主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する能力、自らの思考のプロセス等を客観的に捉える力など、いわゆる『メタ認知』に関するもの」や「多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなど、人間性等に関するもの」を重視することは過去も同じであるが、新しい学習指導要領では更に学びに向かう力、人間性の涵養においても、より豊

かなコミュニケーション力や表現力が必要とされています。実際に、保護者の不安について、平成二十七年に東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所が共同で実施した調査によると、五十一%の保護者が「こどもが大人になったときに自立できるか不安である」と回答しています。

「自立」とは、文字通り「自分の足で立つ」ことであり、社会において自力で生きていけるということです。しかし、これからの社会で必要なのは「自力で生きていく」「一人で生きていく」ではなく、自立した人同士が社会で関わり合い、他人の能力と自己の能力を合わせて、最大の結果を出すことであると言えます。

調性」となりました。学校教育、家庭教育、社会教育から求められているコミュニケーション力や表現力をどのようにして教育していくのかという課題に「演育」がお役に立てると確信しています。

を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなど、人間性等に関するもの」を重視することは過去も同じであるが、新しい学習指導要領では更に学びに向かう力、人間性の涵養においても、より豊

日本経済団体連合会が平成十八年度新卒採用に関するアンケート調査結果においても、社会人にとって必要な基礎力として「コミュニケーション能力」が十三年連続で第一位、「主体性」が七年連続で第二位となり、第三位が「協

演育は「表現力」や「コミュニケーション力」の練習そのものであり、演育は、今の子どもたちに求められる「表現力」や「コミュニケーション力」を得る最も効果的なプログラムであることから、公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会は、これからも「演育」の普及活動に全力で取り組んでまい

所存です。

巡回公演だより

このつぎなにあに班

野見山 大輔

移り変わる里山の四季は、この舞台の魅力の一つです。

秋の場面であつた柿が何故か、冬の雪景色の中で一個だけ残ります。時折「なんでー？」と子どもから聞かれると、心の中で「よっしゃ」と叫んでいます。

木守柿。翌年の豊作を願い、全て収穫せず数個だけ残す習慣です。

これには、鳥が食べる分を残しておくという説もあります。この方が優しいので、子どもに説明す



る時はこちらを使います。もともと鳥が木に集まれば、肥料を与えてくれるのだから、次の実りに繋がるというのも理に叶っ

た。知っている。知識はまだ乏しかったでしょうが、先人は自然との共生する知恵を持っていました。古き良き日本を子どもたちに伝えるのも、人形劇の役割だと思います。

ももたろう班

小杉 正繁

今年の冬は暖冬気味でした。2月の上旬にうかがった南九州地方は、菜の花に早咲きの桜や木蓮の花が咲いていました。

さて、「ももたろう」の作品を演じさせていただいて半年が経ちました。

私が演じているお爺さんは、お婆さんにこまやかな心づかいを持ち、ひかえめにつつましく暮らす、たしなみのあるおじいさんです。ももたろうには勇壮活発で、相



手の心情を察していたわりのある、物事にしりごみしない、強い心を持つ子になってもらいたいと思っていますが、いざ鬼退治となると、我が子可愛さになって引きとどめます。

しかし、かならず戻ってくる
信じて帰りを待つという…みんな
がよく知っている昔話ですが、思
いやりと優しさを重んじて、これ
からも演じていきたいです。

三まいのおふだ 班

榎本 均

ある日のことです。上演後に舞
台道具を車に積み込んでいると、
園庭で遊んでいた女の子が息を切
らせて駆け寄ってきて、「今日、
おもしろかった!」と言ってくれ
ました。

やまんばの人形は重い。自分が
演出しているのに実際に人形を動
かすと、あらためて難しい。イメ
ージと形のギャップ、こうやりた
いのにできない、いらだちみたい
なものは常にどこかにありました。
「おもしろかった」毎日の上演

で子どもたちか
らよく言っても
らう言葉ですが、
その時の女の子
の言葉は、特別
なものに聞こえ
ました。まささ
らな、未来の言
葉に感じられた
のです。

先日、旅から
帰って、久しぶ
りに劇団員みん
なで話をしまし
た。お互いに人
形劇を創ってい
く中で、あるい
は世の中の人と
人とのつながり
の中で、話す機



会が圧倒的に少ないと感じている
ようでした。

スマホなど、すぐに情報交換が
できることに対する危機感もある
かもしれません。同一性、合理性
の追求はなくなることはないでし
ょう。一方で、他者を認め合う、
差異を大切に感じる感覚は、決して
失ってはいけません。

私はあまり音楽には詳しくあり
ませんが、いくらCDや音楽配信
が普及しても、ライブはなくなら
ないでしょう。多少の違いはあつ
ても、人形劇も同じだと思います。
「おもしろかったよ」という言
葉を、子どもたちから直接聞くこ
とに私たちの巡回公演の意義があ
ると思います。

「これから」「これから」と子ど
もたちの笑顔は、花のつぼみのよ
うです。
満開の桜のように咲く未来を、
今年の春も、また思います。

もぐもぐ劇場 班

下村 あきら



新年度がスタートしました。今
年度も、もぐもぐ劇場は、「かも
とりごんべえ」「ねずみの嫁入り」
脚本・岡崎柁男／演出・小澤アキ
ラ／音楽・横山太郎、「ずいてん」
脚本・演出・小澤アキラなどの作
品で、首都圏を中心に上演を予定
しております。

この三作品は、四十数年前、池
袋にある財団事務所の地下にあつ
た「寿限無」という、すぎのこの
小ホールで公演をしていた時、一
九七六年〜七八年に創られた作品
で、それ以来、劇団の代表作とし
て、上演を続けています。

上演先の先生からは、「元の作
品の要素もしっかりあり、面白い
楽しい中にもテーマがあり、わか
りやすかった」など嬉しい感想を
いただいています。
これからも、私の宝物であるこ
れらの作品を、身体の動く限り、
上演していきたいと思っています。
ご用命をお待ちしております。

園からの声

このつぎなめに

■香我美おれんじ保育所（高知県香南
市）

人形の動かし方や、ちょう、と
んぼの細やかな動きが自然で、ま
るで本物のように感じられ、子ど
もたちも「チョウチョ」「トンボ」
と声をあげていました。
春夏秋冬の場面展開が分かりや
すく、場面が変わると子どもたち
も「わあ」と手をあげてたとき、
その変化を喜んでいました。

■香我美幼稚園（高知県香南市）

いつもながら、話の時の声のト
ーン、出し方、表情など、子ども
たちの心をつかむ技術で、自園の
職員にも参考になることがあります。

おじいさん、若者がいなくなつ
た部屋にたぬきが舞い戻ってくる
場面では、たぬきの動きを笑って
楽しむ乳児と、物語を理解し、心
配そうな表情を浮かべる年長児な
ど、発達に沿って各々の楽しみ方
ができていたように思います。

ももたろう

■聖水保育園（京都府京都市）

子どもたちのよく知っているお
話で、とても分かりやすくアレン
ジしてあり、すぐにお話の中に入
り込んでいました。今年の発表会
で「ももたろう」の劇をする2歳
児の子どもたちも、自分の役と照
らし合わせながら見入っていました。
演出がとてもユニークで、また、
三人の劇団の方が何役もされてい
て、演じ方、声の出し方、顔の表



▲山梨県大月市鳥沢幼稚園より

◀香川県観音寺市豊浜幼稚園より

情など、しっかりと人形に伝わっ
て感動しました。
これからも楽しいお話をたくさ
ん見たいです。

■取石南ごとも園（大阪府高石市）

セットに様々なしかけがあり、
話も分かりやすくて良かったです。
子どもたちが興味をもつて、す
ごく集中して観ていました。終わ
った後も、印象に残ったことを話
しながら「面白かった」「楽しか
った」と喜んでいました。

話口調が子どもたちにとって引
きつけられるものだったようです。
登場したキャラクターもそれぞれ
声色や話し方が変わっており、話
の展開やテンポなど、最後まで飽
きることなく観ていただきました。

三まいのおふだ

■飯能幼稚園（埼玉県飯能市）

「おおきなかぶ」は、かぶをぬく
時、子どもたちが参加（かけ声）
できて大喜びでした。

「三まいのおふだ」のやまんばは、
3歳児で怖がる子がいましたが、
人形の動きのテンポのよさや音楽
に不安がまぎれ、楽しんでおりま
した。

お二人の演技力を学ばせていた
だきます。

■緑保育園（福岡県大牟田市）
水墨画のようなタッチのセット



や背景の切り絵など、風流さと熟
練を感じ、たいへん勉強になりま
した。一つひとつの小道具にまで
細かいこだわりが見られ、子ども
たちを引きつける工夫がたくさん
散りばめられていました。

もももぐ劇場

■宝木保育園（栃木県宇都宮市）

0歳〜5歳児まで参加させてい
ただき、みんな夢中で観ていまし
た。

二つの作品をやっていただけた
ことで、乳児も飽きずに最後まで
参加することができていました。
観劇会が終わってから、手遊び
や歌を歌っている子がいて、記憶
に残る観劇会になったようです。

2019年 公演予定

目安時期	5～7月	8～12月	1～3月
北海道	このつぎなあに		
東北		はだかの王様	
関東	ももたろう		12月このつぎなあに
信越 北陸	はだかの王様		
東海 近畿			はだかの王様
中国 四国		三まいのおふだ	
			三まいのおふだ
九州	三まいのおふだ	このつぎなあに そっくりのくりのき 10～11月	ももたろう はだかの王様
沖縄		ももたろう 11～12月	

※関東を中心に『三匹のこぶた』『小坊主すいてん』『ねずみの嫁入り』『かもとりごんべえ』なども巡回しております。お気軽にお電話ください！

今年度は、5月から7月新潟・北陸地方、9月から12月東北地方、1月から3月東海・近畿、九州地方を巡回公演します。

この作品を観た子どもたちが、純粋で正直な心を持つこと、自分の考えを伝えることの大切さ（コミュニケーション）を感じてくれたらと思っています。ご期待ください！

(下村 あきら)

すぎのこは、近年「日本の心を伝えよう」と主に、日本の昔話・民話を取り上げてきました。そうした中で、外国のお話も観てみたいという声が、上演後にお願しているアンケートに多くなり、2003年「イソップ

物語」以来、久しぶりに外国のお話・アンデルセン童話「はだかの王様」を制作・上演することになりました。

今回の脚本は、初めて、NHK・Eテレ「はなかつぱ」で活躍の河原ゆうじさん。人形・

美術は、アトリエッドポッ。音楽は、「三まいのおふだ」で好評の石川里美さんをお願いしました。



新作

「はだかの王様」



制作

■小名浜白百合幼稚園（福島県いわき市）

今回もとても楽しみに、子どもたちはワクワクしながら、すぎのこさんを待っていました。

二つのお話は、共に、軽快な歌や語り口調、踊りに、子どもたちも目をキラキラさせて、とても楽しんでいた。

しんではいました。一年に一度の観劇ですが、子どもたちの心に残るステキな人形劇でした。

■八潮幼稚園（父母の会・家庭教育学級）（東京都港区）

劇団の方の演技が素晴らしい、子どもたちだけでなく、大人とても楽しめました。

人形の表情もとても豊かで、「すいてん」の小坊主さんの、キツネに名前を呼ばれた時の「あ？」という顔が、とても良かったです。

独特なセリフの間のいや呼吸に、子どもたちもどんどんお話に引き込まれて行き、とてもステキな人形劇でした。

寒い時季も終わって暖かくなり、心機一転する時期になりました。私たちすぎのこも新たな作品とメンバーに変わりました。昨年に新たな稽古場に移ってからの初めての春。皆様も、職場や仲間との新たな良き関係が生まれているかと思ひます。

さて、私たちすぎのこにとって春といえばゲネプロ。今回は狭山に移ってから初めての発表の場となります。

4月28日（日）、場所はすぎのこ

卒園を祝う親と子の観劇会

2月20日、21日の二日間、東京・江戸川総合文化センター大ホールに於いて、江戸川区認可私立保育園保護者連絡協議会主催・江戸川区認可私立保育園園長会・江戸川区認可私立保育園保護者連絡協議会OB会共催の第42回「卒園を祝う親と子の観劇会」で「三まいのおふだ」を上演しました。

当日は、今春、小学校に入学する子どもたちと、親御さんが多数おいでになり、小坊主さんが山姥に追っつけられるシーンでは、「うしろにいるよー」など大きな声で

応援して、楽しんで観劇してくださいました。

また、私たちの後に行われたNHK「おかあさんといっしょ」7代目歌のお兄さん、坂田おさむさんと娘さんの坂田めぐみさんによる歌のコンサートでは、子どもたちの元気な歌声がホールいっぱい響き渡りました。

何時もとは違う舞台で少々緊張しましたが、卒園という喜ばしい行事を一緒に祝うことができて、とても幸せな気持ちでいっぱいでした。



劇団すぎのこ 人形劇観劇会のご案内 2019年 4月 28日(日)	
会場：すぎのこ狭山研修センター 入場無料	
上演予定目	
はだかの王様	10:00 ~ 10:50
三まいのおふだ	12:00 ~ 12:50
このつぎなあに	14:00 ~ 14:50
ももたろう	16:00 ~ 16:50
お問合せ：すぎのこ狭山研修センター（劇団すぎのこ） ☎ 04-2968-4721	

狭山研修センターにて開催いたします。西武新宿線「狭山市駅」東口より西武バス（狭山31）狭山台団地行「御狩場」下車、ソプラテイコ狭山の敷地内にございます。入場料は無料ですので、ぜひご来場ください。

さらに、毎年参加させていただいています「池袋いけいけ人形劇まつり」に今回も出演いたします。5月3日（金）前夜祭、4日（土）本番当日となっております。前夜祭・当日共にそれぞれ入場料が必要です。詳しくは「池袋いけいけ人形劇まつり」公式HPをご覧ください。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

(太田 令)

独立行政法人 日本芸術文化振興会
助成事業



昨年5月より実施していた日本芸術文化振興会の芸術文化振興基金による助成事業、平成30年度「このつぎなあと全国巡回公演」を完了いたしました。

本作は1969年の初版以来、多くの人々に愛され続けている山中恒さん原作の「このつぎなあと」を人形劇化した作品です。古き良き日本の原風景と、そこで生活しているある家族の姿を通じて、人の温かさや思い遣りを感じられるように、人形美術、演出、音響等にこだわって制作いたしました。今回は中国・四国地方と九州地方を巡回しました。離島や山間の上演先にもおうちがいに、多くの子どもたちに作品を届けることができました。日本芸術文化振興会のご支援に厚く御礼申し上げます。本作は2019年度も引き続き全国を巡回いたします。1学期は

事務局
だより

62

研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦恋研修センター」があります。

この施設は緑ゆたかな自然に恵

北海道地方、2学期には九州地方、3学期には首都圏におうちがいます。心を込めて作品を届けていきたいと思ひますので、巡回二年目もどうぞよろしくお願ひいたします。

(福島 亜紀)



まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や演劇等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。

合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉施設「湖畔の湯」やバラキ高原婦恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはテントサイト



婦恋研修センター

(シャワー室・トイレ完備の専用洗面棟併設) や雨天でもバーベキューが楽しめる集会棟、アスレチック広場等が整備され、日本キャンプ協会の優良キャンプ場として認定されています。

婦恋研修センターに関するお問い合わせ
E-mail: support@suginoko.org
または03-3984-2396 (事務局)

劇団研究生を募集しています

すぎのこでは、子どもたちにママの舞台の感動を届ける仲間(劇団研究生・人形劇俳優)を募集しています。全国の幼稚園・保育園や各種イベント会場・劇場などで人形劇の公演活動を通じ、たくさんの笑顔に出会えることがこの仕事の魅力です。巡回公演が中心です。長期間の出張が可能なので、子ども好き、旅好きの方で興味を持たれた方はぜひ、私たちの活動に参加してみませんか。尚、未経験の方は研修・指導を行います。

賛助会員を募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
- (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」
個人 年額 3,000円 以上
団体 年額 10,000円 以上
- (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」
個人 年間 3日間以上
団体 年間 5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に關して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として対応しない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

又、営業制作も募集しています。

活動内容や条件等、詳しくは下記へ連絡ください。

E-mail: info@suginoko.org
または04-2968-4721
(狭山研修センター)



活動記録(平成31年1月~3月)

- | | |
|------|-----------------------------|
| 1/7 | 第三学期全国巡回公演開始 |
| 2/15 | 第15回定例理事会 於・当公益財団事務所 |
| 3/3 | 発声講習会開催 於・げんき保育園(香川県高松市) |
| 3/19 | 第3回臨時評議員会 於・当公益財団事務所 |
| 3/27 | 第三学期全国巡回公演終了 |
| 3/29 | 平成三十一年度事業計画書並びに収支予算書を内閣府に提出 |